

核燃と原発に反対する女たちのデモ

288回目のデモのおしらせ

私たちは31年前のチェルノブイリ原発事故(1986年4月26日)をきっかけに、核燃と原発に反対してデモを行なっています。

青森県には、六ヶ所再処理工場、東通原発、むつ市中間貯蔵施設、大間原発等、日本の原子力施設が集中しています。

この先地震や津波などで、いつ大事故がおきるかわかりません。

青森には豊かな自然があり、農産物、海産物があります。

私たちは、放射能で汚染された故郷を子供たちや子孫に残したくありません。このデモはあくまで個人の自主的なものです。

歩く時は『かみねまいね』と叫びながら、横断幕を持ち、フナカードやマイクを持ちます。人数は少ないのですが「核燃反対」の意志表示をし続ける事は、大切な事だと思います。チェルノブイリ原発事故も、福島原発事故も決して他人事ではありません。

<デモ>

10月28日(土) 偶数月の第4土曜日

- ・弘前大学正門前 午後8時30分出発
- ・デモのコース 弘前大学正門前→土手町→桜大通り
(約2km 所要時間約50分)

〈核燃と原発に反対する女たちのデモ・放射能から子どもを守る母親の会事務局 倉坪〉

